



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	金沢水再生センター受託設備(南部汚泥資源化センター)L-選分層・濃縮機棟建築工事	階数	地上4F 地下1F
建設地	神奈川県横浜市金沢区幸浦1丁目9番地	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	10 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2022年3月 予定	評価の実施日	2019年7月30日
敷地面積	4,586 m ²	作成者	御供 英人
建築面積	1,110 m ²	確認日	2019年7月30日
延床面積	3,516 m ²	確認者	御供 英人

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	常に人が利用する建築物ではないが、緑地の配置など周囲の環境に配慮した計画となっている。	その他 特になし
Q1 室内環境	評価対象外	Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑地をつくり、敷地内の温熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー	建築物省エネ法適用対象外の為、BPI _m ・BEI _m ともに数値はなし	LR3 敷地外環境 標準的な配慮を行っている。
Q2 サービス性能	階高を高くするとともに空間の形状に自由さをもたせている。	
LR2 資源・マテリアル	標準的な配慮を行っている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 **金沢水再生センター受泥設備(南部汚泥資源化センター)し渣分離・濃縮機棟建築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 -**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 %削減

	一次エネルギー消費量基準	対象外
	外皮基準	対象外

受付日 2019年8月22日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



CASBEE横浜2017年版v.1.7

金沢水再生センター受泥設備(南部汚泥資源化センター)し渣分離・濃縮機棟建築工事

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
1		開口部遮音性能								
2		界壁遮音性能								
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4		界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1		室温		快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
2		外皮性能		快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能				
3		ゾーン別制御性		快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
2.2 湿度制御				快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
2.3 空調方式				快適・働きやすさ		⑨温熱環境				
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1		昼光率		快適・働きやすさ		⑩光環境				
2		方位別開口		快適・働きやすさ		⑩光環境				
3		昼光利用設備		快適・働きやすさ		⑩光環境				
3.2 グレア対策										
1		昼光制御		快適・働きやすさ		⑩光環境				
3.3 照度				快適・働きやすさ		⑩光環境				
3.4 照明制御				快適・働きやすさ		⑩光環境				
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1		化学汚染物質		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
4.2 換気										
1		換気量		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
2		自然換気性能		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
3		取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
4.3 運用管理										
1		CO ₂ の監視		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
2		喫煙の制御		快適・働きやすさ		⑪空気質環境				
Q2 サービス性能										3.0
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1		広さ・収納性		快適・働きやすさ		⑫機能性				
2		高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ		⑫機能性				
3		バリアフリー計画		快適・働きやすさ		⑫機能性				
1.2 心理性・快適性										
1		広さ感・景観		快適・働きやすさ		⑫機能性				
2		リフレッシュスペース		快適・働きやすさ		⑫機能性				
3		内装計画		快適・働きやすさ		⑫機能性				
1.3 維持管理										
1		維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ		⑫機能性				
2		維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ		⑫機能性				
2 耐用性・信頼性										2.8
2.1 耐震・免震							0.50			
1		耐震性		防災		⑬耐震・免震	3.0	0.50		
2		免震・制振性能		防災		⑬耐震・免震	3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数							3.0	0.30		
1		躯体材料の耐用年数		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20		
6		主要設備機器の更新必要間隔		防災		⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20		
2.4 信頼性							2.4	0.20		
1		空調・換気設備		防災		⑮信頼性	3.0	0.20		
2		給排水・衛生設備		防災		⑮信頼性	1.0	0.20		
3		電気設備		防災		⑮信頼性	3.0	0.20		
4		機械・配管支持方法		防災		⑮信頼性	3.0	0.20		
5		通信・情報設備		防災		⑮信頼性	2.0	0.20		
3 対応性・更新性							3.3	0.50		3.3
3.1 空間のゆとり							4.0	0.30		
1		階高のゆとり					4.0	0.60		
2		空間の形状・自由さ					4.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.30		
3.3 設備の更新性							3.0	0.40		
1		空調配管の更新性					3.0	0.20		
2		給排水管の更新性					3.0	0.20		
3		電気配線の更新性					3.0	0.10		
4		通信配線の更新性					3.0	0.10		
5		設備機器の更新性					3.0	0.20		
6		バックアップスペースの確保					3.0	0.20		



CASBEE横浜2017年版v.1.7

金沢水再生センター受泥設備(南部汚泥資源化センター)し渣分離・濃縮機棟建築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		-	-	-	-	-
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		-	-	-	-	-
4 効率的運用				3.0	1.00	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮				-	-	-	-	-
2 地域環境への配慮				2.2	0.50	-	-	2.2
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.50	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.50	-	-	-
2 振動				3.0	0.50	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目					-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-